

# 高校生の交通事故発生状況 令和6年中



### 1 高校生の交通事故発生状況

令和6年中の高校生の交通事故(有職の定時制夜間部高校生は、登下校中と学業中のみ 高校生とみなす)及び高等専門学校生(4年生以上を除く)が関係した人身交通事故は、 前年と比較して、発生件数及び負傷者数は減少しました。

また、死亡事故の発生はありませんでした。

### 【高校生の交通事故発生状況】

(令和6年中)

区	分	発生件数	死者数	負傷者数					
		<b>光生件</b> 数	が 有 剱	重傷	軽傷	計			
本	年	170	0	19	198	217			
前	年	174	0	15	231	246			
増	数	-4	0	4	-33	-29			
減	率	-2.3	_	26.7	-14.3	-11.8			

※本表の死傷者数には高校生以外を含む。

## 2 高校生の交通事故等の発生推移(基礎データ平成27年~令和6年)

### (1) 高校生の交通事故の発生推移

過去10年間の発生推移を見ると、発生件数及び負傷者数は県内の全事故同様に減少傾 向にあります。

高校生の死者数は、平成27年以降、2人以下で推移しています。

また、10年間の月別の発生状況を見ると、11月に最も多く発生しています。





区 分	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
発 生 件 数	353	316	308	292	284	208	190	167	174	170
死 者 数	1	1	0	0	2	0	2	0	0	0
内高校生の死者	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0
傷者数	468	425	432	381	363	260	245	204	246	217

(人)

※本表の死傷者数には高校生以外を含む。

# (2) 死傷した高校生の状態別推移

状態別死傷数の年次推移は、平成27年以 300 降、いずれの負傷者数も減少傾向で推移し ており、令和6年は平成27年に比べ、約5 割減少していますが、二輪車乗車中は前年 より増加しました。

中でも四輪車乗車中の負傷者数は43人か 100 ら30人(-30.2%)と減少しました。

過去10年間の死者数は合計4人で、歩行 中1人、自転車乗用中1人、四輪車同乗中 2人となっています。

# 【高校生死傷者の状態別推移】 行 ○ 二輪車乗車中

※ 死傷者数は高校生のみ、裏面に死傷者数の集計表あり。

#### 【死傷した高校生の状態別推移】

※本表の死傷者数は高校生のみ。

	区	分		27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	計
死者	歩	行	$\pm$							1				1
	自転	車乗月	甲甲							1				1
	二輪	車乗車	車中											0
数	四輪	車乗車	車中					2						2
		計		0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	4
負傷者数	歩	行	$\pm$	24	19	20	26	23	18	12	15	14	10	181
	自転	車乗用	甲甲	212	179	180	167	186	131	126	121	111	102	1,515
	二輪	車乗車	中車	22	25	17	30	14	18	9	3	5	14	157
	四輪	車乗車	車中	75	70	83	53	52	31	32	22	43	30	491
		計	·	333	293	300	276	275	198	179	161	173	156	2,344

### (3) 高校生死傷者の月別状態別発生状況

(基礎データ平成27年~令和6年)

高校生死傷者の月別状態別発生状況では、いずれの月も自転車乗用中の死傷者が最も多く、10月が最多となっています。

高校生の死傷者数は、二輪車乗車中及び歩行中は11月、四輪車乗車中は12月が最多となっています。

# 3 高校生の交通事故の発生特徴等

(基礎データ令和6年中)

### (1) 朝の発生が多い

発生時間帯別では、8時台(170件中25件。14.7%)が最も多く、次いで7時台(23件。13.5%)が多くなりました。

曜日別では、水曜日が29件(17.1%)と最も多く、火曜日が19件(11.2%)と最も少なくなりました。

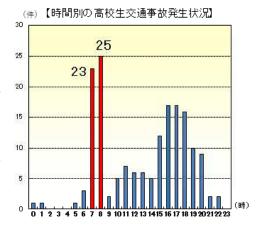
### (2) 高校生死傷者は自転車乗用中が多い

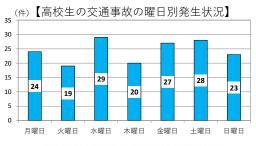
高校生の事故のうち、死傷した高校生は156人で、死傷した高校生の状態別では、自転車乗用中が最も多く、死傷者の約7割(156人中102人。65.4%)を占めており、全事故における自転車乗用中死傷者の構成率(4,612人中569人。12.3%)を大きく上回りました。

高校生の自転車乗用中死傷者の約5割(102人中50人。49.0%)に何らかの違反が認められ、動静不注視(26人。52.0%)と安全不確認(12人。24.0%)が多くなりました。

通行目的別では、登下校中が約7割(71人。 69.6%)を占め、最も多くなりました。







【高校生の状態別死傷者数(156人)】

